



はなもみじ

平成22年
9月9日

屋代
小学校

春秋ごとに匂うなり

運動会スローガン決定！

～ 児童会が全校児童に呼びかけ ～

9月3日（金）より、運動会特別日課が始まりました。朝の活動はすべて全校体育となり、全校種目の練習が行われています。また、学年や連学年では、短距離走や表現運動、団体種目に取り組んでいます。練習は大変ですが、集団で行う競技の楽しさや美しさを感じてほしいと願っています。



入場行進練習



全校ダンス練習



全校応援練習

運動会の主役は、子どもたち一人ひとり。児童会では、自分たちの力で運動会を成功させようと、スローガンを掲げ、係活動をすすめています。

『 本 気 ・ 全 力 ・ 協 力 』

みんなで輝け、エイエイオー！

本気：全校のみんなが本気で取り組んでくれるように！

全力：勝ち負けに関係なく、がんばってくれるように！

協力：学年関係なく、みんなが協力できるように！



児童会

9月の月別めあて

運動会に向けて

いつでも協力

運動会は、競技をする人たちだけでなく、会場をつくる、飾り付けをする、種目に必要な道具を出し入れする、放送を流す、採点をする等、かげで支える人たちがが必要です。5・6年生は、責任をもち、自分の役割を果たすことで、頼りにされる自分を自覚し、自信を高めてくれることと思います。

また、朝はトランペット鼓隊、2時間目休みはリレー、給食前には応援の練習も行われており、関係する子どもたちのがんばりにも感心させられます。自分の得意を生かして、思い出に残る運動会にしてください。

残暑厳しい中での練習になっています。家ではゆっくり体を休めてください。

水分補給用の水筒、汗拭き用のタオル、着替えを持たせてください。

運動服の洗濯は、ひんぱんにお願いします。紅白帽子も点検してください。



9月は運動会が中心の生活。運動会を楽しみにしている子どもは多いと思います。しかし、その一方で、運動会を憂うつに思っている子どもも少なくはないのでは、とも思います。発達障害のある子どもの中にも、運動会の時期になると、学校生活が苦痛になる子が多いといえます。

「食欲がない」「表情が暗い」「朝、なかなか家を出ようとしない」等、気になることがあれば、お気軽に学校にご相談ください。



今できることを精一杯



先の見通しがもてないと不安、急な予定の変更に対応できない、大きな音が苦手、慣れない運動だと手足の動きがぎこちない、大勢の中にいることが苦痛等は、発達障害の特徴です。

こうしたことから、運動会の生活では次のような点が課題となります。

普段の日課と違い、予定が次から次へと変わることに対応できない。集団行動が苦手、全校・学年の大人数の活動が耐えられない。号砲、音楽、応援の太鼓、声援等の音が、必要以上に強く聞こえる。行進したり踊ったりする、長い時間立っている等がむずかしい。競技中の場所の移動や隊形等、複雑な動きが即座にできにくい。いつも一番でないと気がすまない。勝つ負けに強いこだわりをもつ。



この子たちにとって、運動会の生活は大変なストレスとなります。周りにはわからないストレスと戦っていることを、理解してあげる必要があります。学校でも、こうしたことを心に置き、配慮した指導を行うようにしていきます。

発達障害に限らず、人にはそれぞれ苦手なことがあります。

速く走りたくても走れない、うまく踊れない…。何もかもみんなと同じにできることに価値があるのではなく、この子の苦手な部分には、それに応じたハードルを設定し、今できることを精一杯やることで、無理なく越えさせることが、成長につながるはず。もともと運動会が嫌いなのでなく、課題をうまく乗り越えられないから苦痛になってしまうのです。

ご家庭でも、お子さんにあった目標をもたせて、温かな声をかけていただきますよう、よろしく願いいたします。

